

**比べて選んで総選挙！**  
**～あなたの意見で容器包装が変わる？！～**  
**■日時：2014年10月18日(土)19日(日)**  
**■場所：リーフウォーク稲沢(愛知県稲沢市 JR「稲沢駅」より約800m)**

秋冷の心地よい季節、貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

容器包装ごみ削減活動「減装（へらそう）ショッピング」を展開している特定非営利活動法人ごみじゃぱん（所在：兵庫県神戸市灘区六甲台町 2-1 神戸大学内／代表：神戸大学大学院経済学研究科教授 石川雅紀）は、日本ハム株式会社（以下、日本ハム）、株式会社住友ベークライト（以下、住友ベークライト）と共同で、容器包装の多さをお客様に実感・体験していただき、容器包装が少ない環境配慮型商品と、従来商品とでどちらが良いかを選択していただく『減装（へらそう）比較実験』を2014年10月18日（土）19日（日）それぞれ午前10時より、リーフウォーク稲沢（愛知県稲沢市 アピタ稲沢店内イベントスペース）にて実施いたします。

つきましては、報道関係者の皆さまには是非ご取材いただきたくご案内いたします。

本企画は、住友ベークライトが開発した環境配慮型エコフィルム（通常よりも薄く、穴があきにくいフィルム）仕様の日本ハム製品サンプルを用意。従来包装と環境配慮型包装のどちらが受け入れられるのかを調べるアンケート調査を行い、消費者の方々から忌憚の無いご意見を頂戴します。

本年11月に愛知県名古屋市で開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に先駆け、ごみじゃぱんは、消費者や企業等多様な観点から環境について考える取り組みを実施してまいります。

ご多忙のことと存じますが、ぜひとも取材にいらしてください。よろしく願いいたします。  
詳細等ご案内いたしますので、ご取材をご検討いただける場合は以下の担当までご連絡下さい。また、ご不明点等ございましたら何なりとお問い合わせ下さい。

《本件に関するお問い合わせ先》

特定非営利活動法人ごみじゃぱん事務局 （開局時間午後1時～午後5時）

TEL:078-803-3005 FAX:078-803-3006 ホームページ <http://gomi-jp.jimdo.com/>

※大変お手数ではございますが、ご案内段取りの都合上、出席くださる場合は当日までに学生担当の太田垣の携帯までご連絡ください。（電話 080-1900-6884 メール [gomi.japan14@gmail.com](mailto:gomi.japan14@gmail.com)）

喫緊のご案内となり恐縮ではございますが、よろしく願いいたします。

## 開催概要

- 日時 2014年10月18日（土）10:00～17:00（14:00～14:10 ステージにてクイズ大会実施）  
19日（日）10:00～17:00（13:30～13:40 ステージにてクイズ大会実施）
- 場所 リーフウォーク稲沢（愛知県稲沢市長野7丁目1-2 ※アピタ稲沢店内イベントスペース）  
◆JR 東海道本線「稲沢駅」下車、東口より「徒歩」北方向へ約800m
- 内容 本企画は、ごみじゃぱんの活動に協賛して下さる住友ベークライト・日本ハム（五十音順）との共同企画です。住友ベークライトが開発した環境配慮型エコフィルムは通常よりも薄く、穴があきにくい仕様（プラスチック廃棄物を約20%、CO<sub>2</sub>排出量約20%削減）。今回はこのエコフィルムを使用した日本ハム製品サンプルを用意。環境配慮型包装と従来通り包装の両方を消費者に同時に提示し、どちらの商品を買いたいか・なぜ選んだのか、実際に商品を手に取り触っていただいた上で、聞き取り形式のアンケート調査を実施いたします。
- その他、お客様でにぎわうお昼時には、ステージ上での環境クイズ大会等、親子連れのお客様向けのイベントも行います（18日：14:00～ / 19日：13:30）。
- また、アピタ稲沢店内では一部「減装商品」該当商品の商品棚にPOPを設置し、購買を促進する「減装ショッピング」を行っております。

以下写真は、今年2月と6月に愛知県稲沢市で行ったイベントの様子です。



《特定非営利活動法人ごみじゃぱん》

【設立】 2006年9月25日

【代表】 石川雅紀（神戸大学大学院経済学研究科 教授）

【事務局】 ・所在地 神戸市灘区六甲台町 2-1 神戸大学内第 2 研究室 107 号

TEL:078-803-3005 FAX : 078-803-3006

・事務局長 小島理沙

【発足の経緯と活動内容】

2005年10月、ごみゼロパートナーシップ会議がまとめた「簡易包装普及のためのシステム検討委員会平成15年度報告書」で立てられた仮説「ごみ問題を知り、インセンティブが与えられれば、生活者（消費者）の消費行動が変わる＝ごみが少ない商品選択を行う」を実証すべく、有志が集まりNPO法人設立を決定。日本包装学会会長であり、長年に渡ってごみと環境の研究を重ねてきた神戸大学大学院経済学研究科教授・石川雅紀を代表に、社会人及び神戸大学の学生が中心となって発足しました。

発足以降、産官学民の連携で無理なくごみを減らせる社会作りを目指すNPO団体として、社会全体でごみの発生を抑制し、発生したごみは出来るだけ適切に処理していく活動を企画・展開しています。消費者、事業者、教育研究機関及び行政と連携して、簡易包装の普及、ごみの分別とリサイクルの向上、新たなリユースチャンネルの開発及びごみを少なくするための商品の製造・販売等に関わる社会実験を実施し、そこから得られた知見を基に、ごみ問題の抜本的な解決に資する社会的仕組みづくり及び自然環境と調和した都市づくりに寄与しています。

【賞歴】

2008年 グッドデザイン賞 新領域部門 受賞

2012年 3R 功労者表彰 内閣総理大臣賞 受賞

2012年 こうべユース賞 受賞

《本件に関するお問い合わせ先》

特定非営利活動法人ごみじゃぱん事務局（開局時間午後1時～午後5時）

TEL:078-803-3005 FAX : 078-803-3006

ホームページ <http://gomi-jp.jimdo.com/> メール [info@gomi-jp.com](mailto:info@gomi-jp.com)

## 「減装（へらそう）ショッピング」とは？

### ■「減装ショッピング」について

ごみじやぱんの学生達を中心となって企画・運営し、「ごみの発生抑制」を目的に“捨てる時”だけでなく“買う時”からごみの問題を考えるよう生活者に呼びかけています。同じカテゴリーの商品のなかで中身当りの容器包装重量が比較的軽い商品を「減装（へらそう）商品」として推奨しています。減装商品の中身当り容器包装重量の平均は、カテゴリー内全商品の平均の約半分（48%）です。生活者が推奨カテゴリー全体で「減装商品」を購入すると、重量で家庭ごみの約25%、体積で約60%を占める容器包装ごみが半分となり、重量12～13%、体積30%を減らせることが推計できます。

### ■取り組みの背景

日本の容器包装のリサイクルは着実に進み、平成21年度のリサイクル率は20.5%に達し、埋め立て量は10年間で約半減しています。しかし、その処理のために多額の費用を使っている現状があります。また、日本の容器包装は、内容物の保護以上に目立つ包装が採用される傾向があります。

ごみじやぱんは、2007年、2008年、2009～2010年の実験を通じて、生活者が商品選択の際にごみ問題やリサイクルの費用などに気がつけば、より簡易な包装を選択することを実証してきました。

### ■これまでの活動経過

2007年から社会実験を行い、2008年の実証実験を受けて行った「減装ショッピング2009-2010」（2009年11月13日～2010年11月14日）では、全国普及を目的とした基準作りと実施ノウハウ蓄積に取り組んできました。日常的に購買されていると思われる商品カテゴリー（生鮮を除く食品・トイレットリーなど）ごとに、協力店舗全商品の容器包装を独自に計測し（計測詳細は前項参照）、内容量単位あたりの容器包装が軽量化されているトップグループの商品を「減装商品」として推奨。売り場でPOPなどの目印をつけることにより、生活者が「減装商品」を自ら選択する購買スタイルを定着させるための活動を行ってきました。

また2011年度では「減装ショッピング2011」を実施し、学生達を中心となって、協働企業や生活者と連携しながら、PRイベント・子供達への啓発活動「減装学校」、生活者との対話と定性調査「減装カフェ」を行って参りました。これらの活動が評価され、2012年度には、3R功労者表彰内閣総理大臣賞を受賞いたしました。現在は、本年11月に愛知県名古屋市で開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に向けた活動の一環として愛知県名古屋市でイベントを実施するなど、活動の場を広げております。